

岡田鋳金(株)

複合加工機による工程統合や
レーザー溶接機の活用で、
効率的な生産を実現

岡田鋳金(株) (東京都大田区) は、生産拠点である茨城県小美玉市で設計・板金・塗装・組立・二次加工の社内一貫生産を行う精密板金加工メーカーである。板金工程ではパンチレーザー/ファイバーレーザー複合加工機やファイバーレーザー溶接機など最新のレーザー加工機を多数配備。ライン内での工程統合や IT ネットワークを駆使した合理化により、顧客ニーズの多品種少量・変種変量生産に对应している。

茨城に“ミニ大田区”を実現

同社は 1923 年に東京・四谷で創業。戦後はモノづくりの集積地である東京都大田区で精密板金加工を手がけた。しかし、住宅密集地に立地していたため、80 年代頃から近隣住民から騒音や振動の苦情を受けることが多くなった。そこで 1988 年、茨城県小美玉市に 1630 坪 (現在は 1 万坪) の用地を取得し、生産拠点を移した。地価が都内と比べて 50 分の 1 程度で、深夜まで操業が可能だったためであった。

しかし、移転当初は苦戦した。精密板金加工業の業態は、曲げや溶接だけで終わることは少なく、多くの場合、塗装やプレス、機械加工、印刷などの業務が伴う。大田区なら、それぞれの工程を近隣の専門業者に委ねればすむが、それができず、結局は片道 80 km もの距離をトラックで往復しなければならないなど大きなロスが生じた。

だが、そこで名案が浮かんだ。大田区にはバブルの崩壊で厳しい環境下に置かれているモノづくりのプロたちが大勢おり、その人たちの助けを借りることを思いついたのだ。そして、目ぼしい人に声をかけると、次々と小美玉市の同社工場に来てくれた。こうしてわずか数年間のうちに、板金から塗装、洗浄、プレス、機械加工、シルク印刷、組立までを自社内で賄う一貫生産体制ができあがった。

大田区の優れた技術を移転できたことから、同社では自社工場を別名、「ミニ大田区」と称している。しかも単なる技術移転だけではない。大田区にいたときでも工程間の輸送にはトラックを使用した

が、自社工場内ならその必要がなく、輸送日数や加工日数を大幅に削減でき、スピード対応が可能になったのだ。

「茨城にくるまでの経過はいろいろとありましたが、結果的にはすべてうまくいった。今では、逆境をばねに移転できたことに感謝しなければい

会社概要

会社名	岡田鋳金(株)
代表者	代表取締役 増田武夫
本社	〒144-0054 東京都大田区新蒲田 1-22-18
TEL	03-3734-7101
工場	〒319-0104 茨城県小美玉市三箇 207-1
TEL	0299-48-2901
設立	1952 年 (創業 1923 年)
従業員数	125 人
売上高	15 億円 (2016 年 6 月期)



写真 1 増田道造会長